

平成27年6月5日(金)

保護者の皆様

栃木市立真名子小学校長 五味壽明



## こころの日だより

### ～地域と連携・協力し「子ども110番の家」全児童が訪問～

雨にぬれたあじさいが美しい頃、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、PTA総務役員の皆様を中心に昨年度より、児童の安全な登下校を願い「子ども110番の家」の協力家庭のよびかけをしていただき、今年度、PTA正副幹事さんが、5月20日の児童の一斉下校に同行し、関係家庭にステッカーを配布してくださいました。お陰で児童が安心して日々の学校生活を送っています。

さらに、5月20日は、不審者が学校に侵入したと仮定し、子どもたちが非常時に正しくより早く行動できるように不審者対応の訓練を行いました。警察スクールサポーターの船渡川さんや稲葉巡查長さんの協力により「安全教室」も行われて、命の大切さを再確認し、不審者への対応の仕方の知識を高めることができました。今後は、子どもたちが地域の方々に見守られていることに「感謝する心」を学校でも育てていきたいと思えます。



【「いかのおすし」紙芝居】 【不審な人に声をかけられた場合の対応の仕方】【職員の不審者対応】



5月の家族会話は「子ども110番の家」の活用や「通学路の安全」などの話題が多かったので、ご紹介します。ありがとうございました。



一人では遊ばない。  
行き先を家の人に話す。



なるべく一人では行動しないことや、防犯ブザーの使い方やその後どうするかを話しました。



横断歩道は、気をつけて渡る。



一人で帰らないようにする。防犯ブザー不審者がいたら「子ども110番の家」に逃げる。家の人に知らせる。



知らない人にはついて行かないようにする。一人で遊ばない。



登下校中、困ったことや不審な人につけられている時は「子ども110番の家」に駆け込むようにしましょう。



知らない人については  
行かない。



いつでも駆け込む逃げ込める家なので毎日  
会ったときは挨拶をしよう。



通学路では車が怖いので  
お兄さんお姉さんの言うことを聞  
く。



お兄さんお姉さんの言うことを良く守ること。  
ボランティアの人、先生に見守ってもらって  
いるし、「子ども110番の家」のお家の人も  
困った時、怖い人がいたときには助けてくれ  
るので安心して登下校して欲しい。



通学路で真名子駐在所の先(正  
確には反町公会堂)から自分の  
家まで1人だと寂しい道が続く。



なるべく1人にならないように登校班の子の  
お母さん達と連絡をとって、1人になってしま  
う日は途中までお迎えに出るようにするから  
大丈夫だよ。



へんな人に会ったら大きな声で「助  
けて」と言う。



「子ども110番の家」に逃げ込む。一人で遠く  
まで行かない。



不審者に遭わないように大き  
な声で助けを呼びながら  
「110番の家」に駆け込む。



一人で出歩かない。夕方暗くなってから出  
歩かない。



明るいうちに帰る。



どこで遊ぶかを親に言ってからにする。帰る  
時間を決めてから遊びに行くこと。



一人でどこかに行かない。  
知らない人について行かない。



「子ども110番の家」ステッカーが貼ってあ  
る場所を覚えて知らない人に声をかけられ  
たり、追いかけられたりしたら逃げ込むよう  
にしようね。「子ども110番の家」は子どもの安  
全を守ってくれる場所なんだよ。



危険なところは通らない。どこかへ  
行かない。知らない人に誘われたら  
きっぱり断る。



道を尋ねられても「大人に聞いてください。」  
と話しかけに応じない。前方に車が止まって  
いたら、車から離れたところを通りましょう。



自転車の決まりやお友達の家に  
行って何時までに帰るかを守って  
事故が起きないようにしていきた  
いです。



知らない人については行かないようにしよ  
うね。



不審者に遭わないようにするた  
めに防犯ブザーをならすこと  
です。



どこが「子ども110番の家」なのか覚えておく  
と不審な人が例えいたとしても駆け込むことが  
できる。



知らない人に声をかけられても  
ついて行かない。大きな声を出  
す。



不審な人がいたり、不審な車があったら近寄  
らないで近くにいる人や「子ども110番の家」に  
駆け込むようにしようね。



110番の家にとめてもらう



「110番の家」の人はとってもやさしい人たちです。見守ってくれている気持ちに、いつも感謝してください。



おそわれないように防犯ブザーや大きな声を出す練習をする。危ない所は私の家の前です。県外ナンバーが多い。



一人では行動しない。何かあったら必ず大人に言う。



不審者にあったら防犯ブザーを鳴らす。



落ち着いてブザーが鳴らせるようにしておこう！すぐにできなかつたらみんなでできるだけ大きな声を出そう！110番の家を覚えておこうね。



青信号になっても、きちんと左右確認をする。



信号だけでなく自分自身で確認が大切。信号無視の車もあるので慎重に渡ろう。



不審者を見つけたら「110番の家」に大声を出して逃げ込む。家の人に迎えに来てもらえるように話す。



「いかのおすし」を思い出しながら、迷わず「110番の家」に逃げ込むことが大事だね。



暗くなったら外で遊ばない。



自分の家に着く前に困ったことがあったら「子ども110番の家」に逃げ込もう。



不審者に遭わないためには（登下校の時になるべく一人にならない）（人が少なくなる夕方とかは一人で遊ばない）



不審者に年齢は関係ないため、例えば高校生のような感じで「ゲーム」に誘ってくるなどの場合もある等の話をしました。また、110番の家に助けを求めて駆け込むことができるように日頃から近所の人に会ったらあいさつをするように話し合いました。



不審な人がいたり、暗くて不安なときは、子ども110番の家へすぐ駆け込む。



「子ども110番の家」の方に自分はこの誰なのかハッキリたえられるように、自宅の電話番号や親の連絡先など最小限、覚えておくように話し合いました。



公園の誰もいない所、怪しい所には近づかないようにする。



「子ども110番の家」は誰でもいつでも駆け込める所なのでいつでも会った時は、挨拶をして顔を覚えておこう。



知らない人に声をかけられたら110番の家に行く。



不審な人に遭って危険を感じた時や体調が悪くなった時などに助けてくれる家です。



車をよく見て渡る。信号をよく見る。田んぼに落ちこまないようにする。



幹菜は班長なので、安全に気を付けながら歩くよう心掛けようね。安全に思える歩道も車が乗り込んでくる事故も多いので車の動きには注意して歩こうね。

暗くなるまで遊ばないようにする。  
不審者に遭ったら「子ども110番の家」に駆け込む。



不審者でなくても不安に思ったら「子ども110番の家」をつかおう。

家の近くで遊ぶようにする。



遠くで遊ぶ場合は親に相談してからにする。  
帰る時間も決めてから遊びに行く。

防犯ブザーを鳴らす。挨拶はしません。でも近づくことはしません。



道を尋ねられても「大人に聞いてください。」と話しかけに応じない。前方に車が止まっていたら車から離れたところを通る。

登校や下校の時、班長は時々左右を見る。副班長は時々後ろを見る。防犯ブザーを鳴らす。  
また、みんなで大声を出す。



どこに110番の家があるかを日頃から確認しておきましょう。お休みの日はできるだけ人や車が通る(人の目がある)道を歩くようにしよう。

きちんと学校の決まりを守り  
5時には家にいるようにする。



道草をしたりふざけながら歩かない。知らない人が寄ってきたらすぐに「子ども110番の家」に駆け込むか、知っている人が田んぼにいたらその人の所に行く。

人がいない所や危ない所には行かない。



不審な人に声をかけられ怖い目にあったりしたら「子ども110番の家」に駆け込めば助けてくれるよ。

不審者に遭わないようにするためになるべく夕方くらいになったらすぐに家に帰る。薄暗くなってきたら一人であまり外へ行かない。守っていきたいです。



困った時や危険な時は「子ども110番の家」のお家に助けを求めてください。

寄り道はしない、警戒する、必ず防犯ブザーを持って行く。「子ども110番の家」は近くにあると、便利でなくてはならないと思う。



あいさつする時、顔をきちんと見ていれば地域の人の顔を覚えられて、見たことがない人との区別がつくね。

決まりにあるように4月～10月は、5時まで、11月～3月は、4時30分までに家に帰る決まりを守りたいです。



6年生として自覚のある行動をとってください。安全に日々を過ごせるように努力してください。

私は自転車の乗り方に気を付けて左右確認をして車に注意して渡ることを意識していきたいです。



同じ道でも交通量の多い時間帯などでは道路状況も変わるので十分に気を付けて乗って欲しいと思います。

不審な人を見かけたら「子ども110番の家」に逃げる。そのために「子ども110番の家」がある所を覚えておく。



「子ども110番の家」が使われないことが望ましいですが、万一のために子供に良く教えていきたいと思っています。

